

報告書

概要	イベント名	女性からだ会議® in 創価大学
	目的	女子学生への子宮頸がんに関する知識普及と検診の啓発
	日時	平成29年9月20日(水)
	場所	創価大学中央教育棟内の教室 AC532
	主催者	創価大学経済学部西浦ゼミチームRe♡BBON Facebook: facebook.com/nishiuraribbon Instagram: Instagram.com/nishiuraribbon Twitter: @nishiuraribbon
	協力団体	一般社団法人シンクパール
	参加者	創価大学女子学生108名
要旨	<p>9月20日(水)に創価大学内において、同学経済学部西浦ゼミチームRe♡BBONが主催する、女性の健康について考えるセミナー「女性からだ会議® in 創価大学」が、子宮頸がん検診の啓発活動を行っている一般社団法人シンクパールの協力の下、開催された。お昼の部・夕方の部の2部構成で開催され、合計108名の女子学生が参加した。</p> <p>参加した女子学生からは、「参加してよかった」「知らなかったことを知れてよかった」「自分の健康のために検診に行こうと思った」などといった声をいただいた。</p>	
内容	<p>一般社団法人シンクパールの協力の下、創価大学の中央教育棟内の教室で、女性の健康について考える「女性からだ会議® in 創価大学」を同学経済学部西浦ゼミチームRe♡BBONが主催し、同学女子学生108名が参加した。</p> <p>本セミナーでは、まず初めに西浦ゼミチームRe♡BBONの女子メンバーによるクイズやプレゼンテーションによって、参加した女子学生に子宮頸がんやその検診についての知識をレクチャー形式で行った。当事者である女子学生が直接女子学生に知識普及と子宮頸がん検診の重要性を</p>	

	<p>訴えた。</p> <p>その後、一般社団法人シンクパール代表理事の難波美智代様から、自身が子宮頸がんを患い、それを克服した経験をもとにご講演をさせていただいた。</p> <p>次に、創価大学から八王子駅までにある、創価大学生が比較的行きやすい子宮頸がん検診実施医療機関(紹介することに関して了承を得ている)を紹介した。</p> <p>最後に、子宮頸がん検診が2年に1度の受診を推奨されていることから、参加した女子学生に2年後の自分に向けて「未来郵便」(はがき)を書いてもらった。</p> <p>参加した女子学生からは「子宮頸がんをはじめとする病気が他人事ではないと気付いた」「検診行こうと思います」「未来の私のことまで考えられるよう、未来郵便を書けてよかった」などの、セミナー全体だけでなく、その中に含まれる企画一つ一つが高く評価された。特に、登壇者の話によって、参加者がそれまで抱いていた女性の健康についての悩みや検診に対する抵抗感も軽減された。また、参加者が2年後の自分自身のことまで考えられる「未来郵便」は画期的なものとして高く評価された。</p>
<p>総括</p>	<p>今回、参加した多くの女子学生から高い評価を受け、継続的な開催を希望する声が多く上がった。また、参加できなかった女子学生からも、次回開催予定を質問され、その高い評価は参加・不参加に関わらず女子学生に広く認知されたものとする。このことから、より多くの学生に、健康について学び、どう行動すべきかを考える機会を継続的に設ける必要と需要はあると思われる。</p>
	<p>(問い合わせ連絡先)</p> <p style="text-align: right;">創価大学経済学部経済学科 西浦ゼミ チームRe♡BBON Mail: nishiuraribbon@gmail.com 代表 山岸将志</p>